

平成31年度 文化プログラム・学校連携事業実施要項

1. 日 時 令和1年11月27日(水) 13:15～15:05 (5・6時間目)
講演題目「ワークショップ・被災紙製資料の安定化処理方法について
～ふるさとの宝を守るために～」
2. 対 象 第2学年B組
3. 会 場 本校理科室
4. 趣 旨 平成23年3月11日に発生した東日本大震災は各地に甚大な被害をもたらした。中でも、津波常襲地帯として知られてきた岩手県太平洋沿岸部では、この地域に伝わる貴重な多くの文化遺産および自然遺産、そして数多くの博物館が深刻な被害を受けた。
これらの貴重な日本の文化財を守るため、多くの学芸員たちが立ち上がる。しかし、世界的にもみても未経験である被災状況下で、資料の救出・修復作業は困難を極める。学芸員たちはそれでも諦めず、試行錯誤しながら、問題解決に挑んでいる。
昨年度、同氏による博物館のレスキュー体験を聴き、「本当の意味での復興とは何か？」を深く考えさせられた。今回のプログラムでは同氏の指導のもと、実際に被災した文化財の修復作業の一端を体験する。
このプログラムでは、生徒のボランティアマインドの育成を図るとともに、「TOKYO 2020」を考える素晴らしい機会になると考えている。
5. 講 師 岩手県陸前高田市立博物館主事兼学芸員 浅川 崇典 氏
6. 時 程 司会・講師紹介 近藤副校長

10:45～	事前会議・講師対応(副校長・内田) 会場準備(理科)
13:10～13:15	生徒集合・整列・ワークシート配布(担任:内田)
13:15～13:05	講師紹介・ワークショップ
14:05～14:15	休憩
14:15～15:05	ワークショップ・質疑応答・校長講評
14:05～	ワークシート回収(担任) 事後会議(副校長・内田) 会場片づけ(理科)

【講師紹介】



東京都八王子市生まれ。北里大学大学院海洋生命科学研究科修了後、岩手県陸前高田市立博物館の主事兼学芸員として従事。

現在は、津波で全壊した博物館の再開に向けて、文化財の修復に取り組んでいる。さらに、三陸海岸に棲息する鳥や昆虫などに震災の影響が出ていないか、調査するという新たな研究にも取り組んでいる。

浅川氏は「僕はよそから来た人間なので違った視点から陸前高田の残されてきた歴史や自然を陸前高田の市民に伝えていければと思う」と話している。(明日へつなげよう-NHK東日本大震災プロジェクト-より)

